

平成 23 年 度

決 算 概 要

【抜粋】

福 島 県 南 会 津 町

平成23年度 決算概要目次

第1 実質収支に関する調書	1	8. 簡易水道事業特別会計決算について	
第2 平成23年度決算状況		第25表 平成23年度簡易水道事業特別会計款別決算額	13
1. 一般会計・特別会計決算額について		9. 水道事業会計決算について	
第1表 平成23年度会計別決算総括表	2	第28表 平成23年度水道事業会計款項別決算額	14
2. 一般会計決算について		第4 基金の運用状況に関する調書（定額運用基金）	15
図表1 一般会計決算図表	3	第5 地方財政状況調査による資料	16
第4表 平成23年度一般会計歳出決算額財源内訳	4	第6 健全化判断比率の状況	17
第5表 平成23年度一般会計歳出性質別決算額	5		
図表2 一般会計性質別決算額	6		
第10表 地方債目的別現在高	7		
3. 国民健康保険特別会計決算について			
第12表 平成23年度国民健康保険特別会計款別決算額	8		
4. 後期高齢者医療特別会計決算について			
第15表 平成23年度後期高齢者医療特別会計款別決算額	9		
5. 介護保険特別会計決算について			
第17表 平成23年度介護保険特別会計款別決算額	10		
6. 農林業集落排水事業特別会計決算について			
第20表 平成23年度農林業集落排水事業特別会計款別決算額	12		
7. 公共下水道事業特別会計決算について			
第22表 平成23年度公共下水道事業特別会計款別決算額	13		

※一部抜粋しております。

第1. 実質収支に関する調書

単位：千円

区 分		一 般 会 計	国民健康保険 特 別 会 計	後期高齢者医療 特 別 会 計	介 護 保 険 特 別 会 計	農林業集落排水 事 業 特 別 会 計	公共下水道事業 特 別 会 計	簡易水道事業 特 別 会 計
1	歳 入 総 額	14,130,977	2,238,027	212,388	1,638,284	159,804	384,062	649,866
2	歳 出 総 額	13,585,747	2,092,638	208,936	1,632,095	154,710	382,346	643,601
3	歳 入 歳 出 差 引 額	545,230	145,389	3,452	6,189	5,094	1,716	6,265
4	翌年度へ繰り 越すべき財源							
	①継続費通次繰越額							
	②繰越明許費繰越額	140,979			1,313			2,550
	③事故繰越し繰越額							
	計	140,979			1,313			2,550
5	実 質 収 支 額	404,251	145,389	3,452	4,876	5,094	1,716	3,715
6	実質収支額のうち地方自治法第233条 の2の規定による基金繰入額							

《参考：各会計間繰入繰出額》

単位：千円

区 分	一 般 会 計	国民健康保険 特 別 会 計	後期高齢者医療 特 別 会 計	介 護 保 険 特 別 会 計	農林業集落排水 事 業 特 別 会 計	公共下水道事業 特 別 会 計	簡易水道事業 特 別 会 計	水道事業会計
繰 入 金	6,392	168,581	82,767	253,786	106,442	136,493	161,193	7,751
繰 出 金	915,590			6,392		1,423		
繰入を除く歳入決算額 純計	14,124,585	2,069,446	129,621	1,384,498	53,362	247,569	488,673	162,130
繰出を除く歳出決算額 純計	12,670,157	2,092,638	208,936	1,625,703	154,710	380,923	643,601	232,686

第2. 平成23年度決算状況

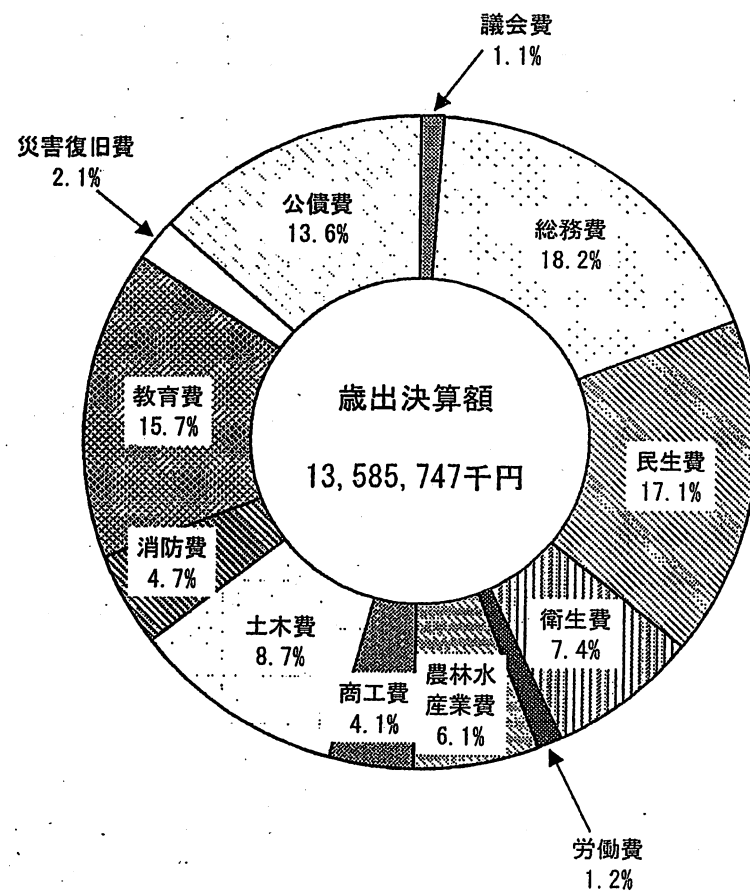
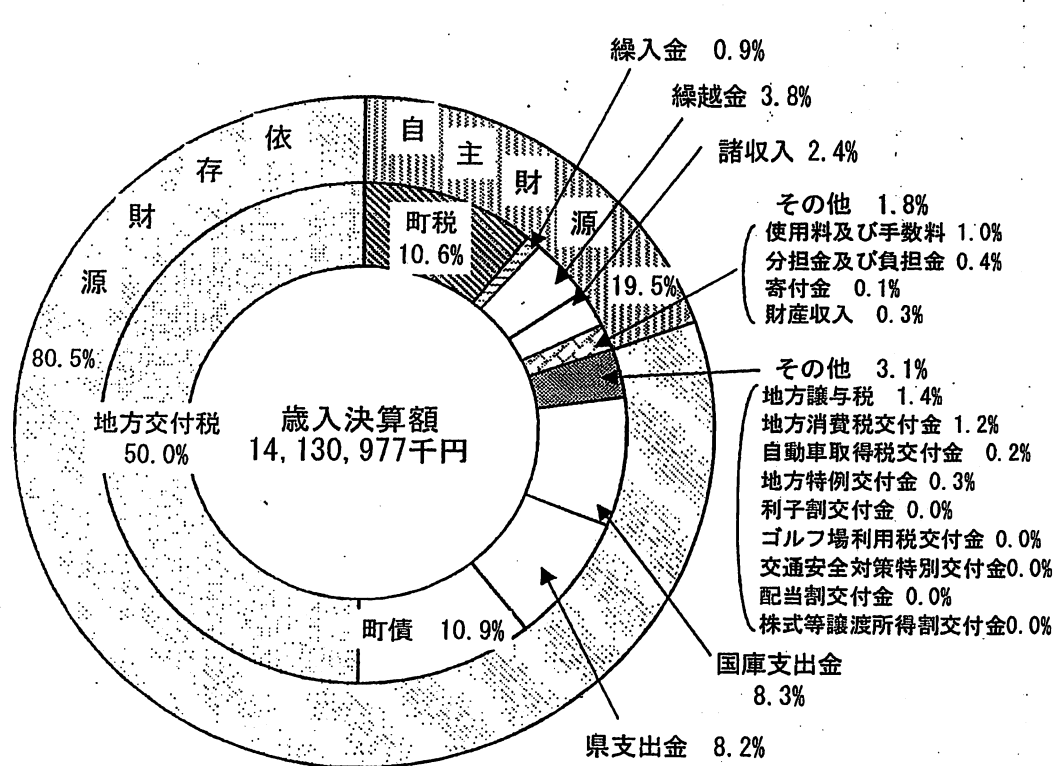
1. 一般会計・特別会計決算額について

第1表 平成23年度会計別決算総括表

単位：円，%

会計名	区分	予算額 (C)	決算額 (D)	予算対比較増減	予算執行率	前年度予算 執行率	前年度決算額対 比増減率	備考
一般会計	歳入 (A)	15,445,750,000	14,130,976,917	△1,314,773,083	91.5	90.4	4.4	繰越明許費繰越額 140,979,000 円 翌年度純繰越額 404,250,955 円
	歳出 (B)	15,445,750,000	13,585,746,962	1,860,003,038	88.0	86.8	4.6	
	差引(A)-(B)		545,229,955					
国民健康保険特別会計	歳入 (A)	2,241,546,000	2,238,026,883	△3,519,117	99.8	100.7	△2.5	翌年度純繰越額 145,389,035 円
	歳出 (B)	2,241,546,000	2,092,637,848	148,908,152	93.4	93.8	△2.2	
	差引(A)-(B)		145,389,035					
後期高齢者医療特別会計	歳入 (A)	212,559,000	212,388,150	△170,850	99.9	97.1	1.4	翌年度純繰越額 3,452,503 円
	歳出 (B)	212,559,000	208,935,647	3,623,353	98.3	95.2	1.7	
	差引(A)-(B)		3,452,503					
介護保険特別会計	歳入 (A)	1,639,225,000	1,638,283,725	△941,275	99.9	99.8	0.5	繰越明許費繰越額 1,313,000 円 翌年度純繰越額 4,875,494 円
	歳出 (B)	1,639,225,000	1,632,095,231	7,129,769	99.6	97.0	3.0	
	差引(A)-(B)		6,188,494					
農林業集落排水事業特別会計	歳入 (A)	160,100,000	159,803,908	△296,092	99.8	96.9	△8.5	翌年度純繰越額 5,093,986 円
	歳出 (B)	160,100,000	154,709,922	5,390,078	96.6	94.6	△9.3	
	差引(A)-(B)		5,093,986					
公共下水道事業特別会計	歳入 (A)	384,412,000	384,062,358	△349,642	99.9	88.5	16.5	翌年度純繰越額 1,716,110 円
	歳出 (B)	384,412,000	382,346,248	2,065,752	99.5	86.5	18.6	
	差引(A)-(B)		1,716,110					
簡易水道事業特別会計	歳入 (A)	655,449,000	649,866,340	△5,582,660	99.1	92.1	8.1	繰越明許費繰越額 2,550,000 円 翌年度純繰越額 3,715,611 円
	歳出 (B)	655,449,000	643,600,729	11,848,271	98.2	91.3	8.0	
	差引(A)-(B)		6,265,611					
総計	歳入 (A)	20,739,041,000	19,413,408,281	△1,325,632,719	93.6	92.5	3.4	繰越明許費繰越額 144,842,000 円 翌年度純繰越額 568,493,694 円
	歳出 (B)	20,739,041,000	18,700,072,587	2,038,968,413	90.2	88.7	3.8	
	差引(A)-(B)		713,335,694					
水道事業会計 (企業会計)	収益の収入(A)	153,070,000	151,880,520	△1,189,480	99.2	98.5	△2.8	不足額 76,655,189円は次により補填 損益勘定留保資金 74,647,389 円 過年度分消費税資本的収支調整額 2,007,800 円
	収益の支出(B)	140,536,000	138,031,246	2,504,754	98.2	97.9	△3.2	
	差引(A)-(B)		13,849,274					
	資本の収入(A)	18,000,000	18,000,000	0	100.0	97.8	△20.4	
	資本の支出(B)	95,667,000	94,655,189	1,011,811	98.9	98.2	10.8	
	差引(A)-(B)		△76,655,189					

図表1 一般会計決算図表



第4表 平成23年度一般会計歳出決算額財源内訳

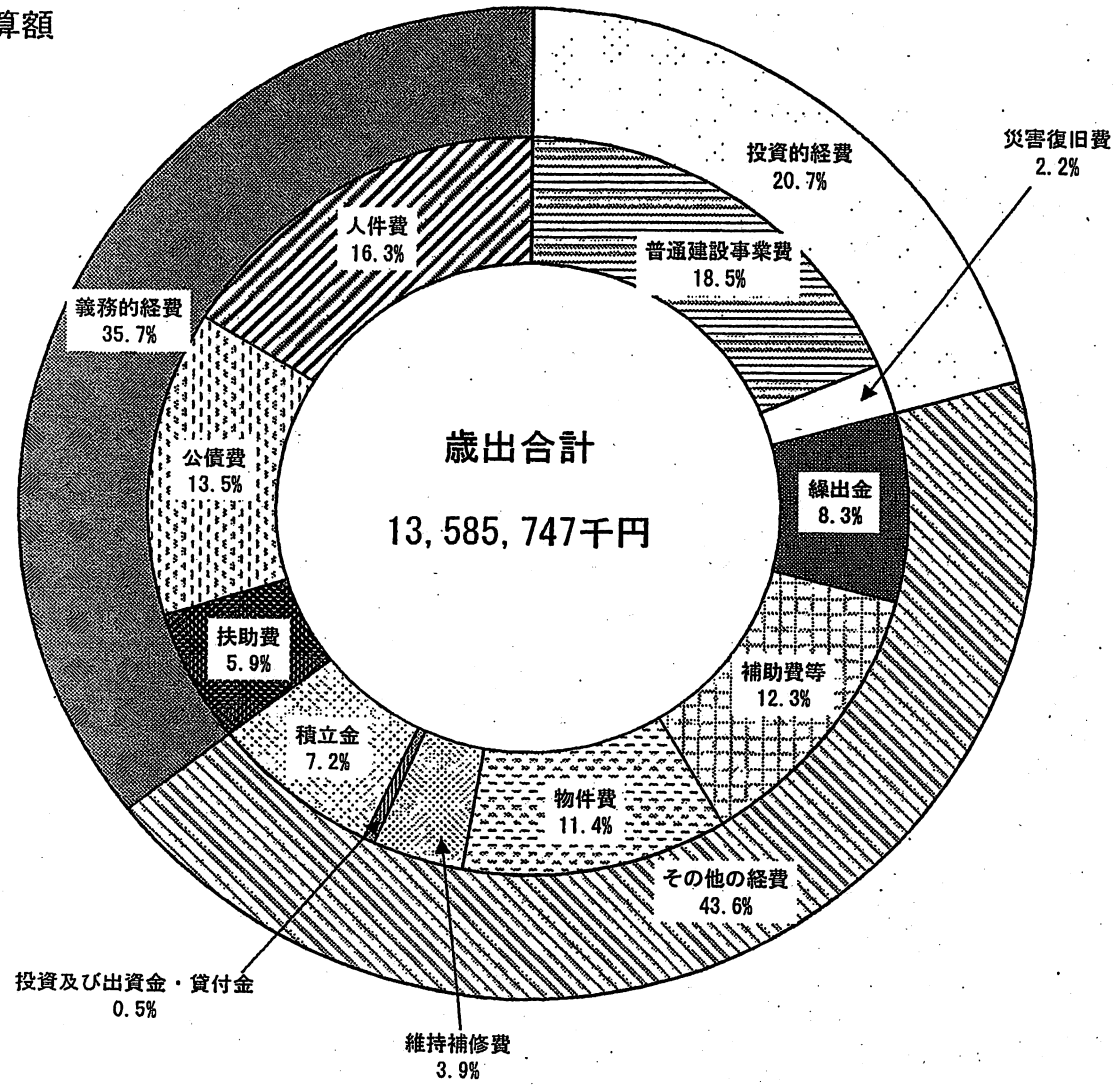
単位：千円

款	決算額	特 定 財 源										一般財源	一般財源 充当割合 (%)	一般財源 充当構成 比 (%)	
		国庫支出金	県支出金	使用料 手数料	分担金負担 金寄付金	財産収入	繰入金	諸収入	繰越金	町債	計				
1. 議 会 費	150,200												150,200	100.0	1.5
2. 総 務 費	2,473,279	8,770	277,455	13,664	1,735	1,795	8,889	23,247	3,695	210,000	549,250	1,924,029	77.8	19.9	
3. 民 生 費	2,324,938	344,131	278,350	58,103	34,085	388	47,223	15,934	3,118	128,000	909,332	1,415,606	60.9	14.7	
4. 衛 生 費	1,003,531	5,017	35,279	55	13			11,920	2,539		54,823	948,708	94.5	9.8	
5. 労 働 費	166,461		95,059				54,533				149,592	16,869	10.1	0.2	
6. 農 林 水 産 業 費	824,516	20,571	198,149	20	7,789	13	7,017	16,355	27,489	15,900	293,303	531,213	64.4	5.5	
7. 商 工 費	554,984	10,488	50,404			1,503	1,000	83,246	5,063	9,000	160,704	394,280	71.0	4.1	
8. 土 木 費	1,184,288	163,675	30,589	27,406		225		780	41,794	153,700	418,169	766,119	64.7	7.9	
9. 消 防 費	634,446	647	10,586					113	387	12,000	23,733	610,713	96.3	6.3	
10. 教 育 費	2,133,744	357,073	28,862	5,746	1,822		1,500	26,810	89,525	627,800	1,139,138	994,606	46.6	10.3	
11. 災 害 復 旧 費	292,858		133,242							53,700	186,942	105,916	36.2	1.1	
12. 公 債 費	1,842,502			25,475				13,152			38,627	1,803,875	97.9	18.7	
13. 諸 支 出 金															
歳 出 合 計	13,585,747	910,372	1,137,975	130,469	45,444	3,924	120,162	191,557	173,610	1,210,100	3,923,613	9,662,134	71.1	100.0	

第5表 平成23年度一般会計歳出性質別決算額

区 分	歳出決算額	構 成 比	平 成 22 年 度		比 較	
			歳出決算額	構 成 比	増減額	増減率(%)
1. 義 務 的 経 費	4,853,913	35.7	4,964,370	38.2	△ 110,457	△ 2.2
人 件 費	2,210,804	16.3	2,279,345	17.5	△ 68,541	△ 3.0
扶 助 費	800,607	5.9	761,892	5.9	38,715	5.1
公 債 費	1,842,502	13.5	1,923,133	14.8	△ 80,631	△ 4.2
2. 投 資 的 経 費	2,805,867	20.7	2,040,080	15.7	765,787	37.5
普 通 建 設 事 業 費	2,513,009	18.5	2,002,658	15.4	510,351	25.5
補 助 事 業 費	1,750,996	12.9	804,879	6.2	946,117	117.5
単 独 事 業 費	734,258	5.4	1,172,771	9.0	△ 438,513	△ 37.4
県 営 事 業 負 担 金	0	0.0	18,890	0.1	△ 18,890	△ 100.0
そ の 他	27,755	0.2	6,118	0.1	21,637	353.7
災 害 復 旧 事 業 費	292,858	2.2	37,422	0.3	255,436	682.6
3. そ の 他 の 経 費	5,925,967	43.6	5,989,717	46.1	△ 63,750	△ 1.1
物 件 費	1,542,806	11.4	1,510,339	11.6	32,467	2.1
維 持 補 修 費	528,301	3.9	421,236	3.2	107,065	25.4
補 助 費 等	1,677,454	12.3	1,763,707	13.6	△ 86,253	△ 4.9
積 立 金	977,004	7.2	1,005,450	7.8	△ 28,446	△ 2.8
投資及び出資金・貸付金	70,000	0.5	75,501	0.6	△ 5,501	△ 7.3
繰 出 金	1,130,402	8.3	1,213,484	9.3	△ 83,082	△ 6.8
合 計	13,585,747	100.0	12,994,167	100.0	591,580	4.6

図表2 一般会計性質別決算額



第10表 地方債目的別現在高

単位：千円

区 分	平成22年度末現在高	平成23年度借入額	平成23年度償還額			平成23年度末現在高
			元 金	利 子	計	
1. 一般公共事業債	352,672		83,512	4,694	88,206	269,160
2. 公営住宅建設事業債	270,605		34,432	5,680	40,112	236,173
3. 災害復旧事業債	90,501	53,700	22,412	984	23,396	121,789
4. 教育・社会福祉施設等整備事業債	158,877		17,690	2,917	20,607	141,187
5. 一般単独事業債	3,609,629	246,800	368,699	55,330	424,029	3,487,730
6. 辺地対策事業債	87,067		19,062	1,128	20,190	68,005
7. 過疎対策事業債	5,100,124	909,600	726,345	61,465	787,810	5,283,379
8. 財源対策債	74,911		4,748	1,368	6,116	70,163
9. 臨時財政特例債	2,376		1,162	92	1,254	1,214
10. 減税補てん債	278,065		43,468	3,546	47,014	234,597
11. 臨時税収補てん債	64,633		8,823	1,274	10,097	55,810
12. 臨時財政対策債	4,758,103	328,963	241,393	62,854	304,247	4,845,673
13. 県貸付金	158,379		19,984	636	20,620	138,395
14. 公有林整備事業債	174,863		18,847	2,668	21,515	156,016
15. 介護サービス施設整備事業債	412,061		16,525	5,449	21,974	395,536
16. 下水道事業債	5,031		669	236	905	4,362
17. 一般会計出資債	49,025		2,891	1,519	4,410	46,134
合 計	15,646,922	1,539,063	1,630,662	211,840	1,842,502	15,555,323

3. 国民健康保険特別会計決算について

[総括] 国民健康保険特別会計の決算収支状況は、歳入総額2,238,027千円(58,317千円の減)、歳出総額2,092,638千円(46,334千円の減)となり、歳入歳出とも対前年比減となった。歳出減の要因は、療養給付費が前年比68,485千円の減少となり、医療費削減に向け各種保健指導やジェネリック医薬品の利用促進を図ったことが影響した。

第12表 平成23年度国民健康保険特別会計款別決算額

歳入

単位：円

款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	未収入額	予算対比較増減 (B)-(A)	収入割合 (%)			前年対 増減比 (%)
							予算対	調定対	歳入計対	
1. 国民健康保険税	408,997,000	577,081,549	411,876,542	1,831,800	163,373,207	2,879,542	100.7	71.4	18.4	0.2
2. 国庫支出金	552,412,000	552,411,566	552,411,566			△434	100.0	100.0	24.7	3.1
3. 前期高齢者交付金	518,999,000	518,999,103	518,999,103			103	100.0	100.0	23.2	△13.4
4. 県支出金	107,100,000	100,592,027	100,592,027			△6,507,973	93.9	100.0	4.5	△8.0
5. 療養給付費交付金	88,668,000	88,667,000	88,667,000			△1,000	100.0	100.0	4.0	22.4
6. 共同事業交付金	236,807,000	236,808,566	236,808,566			1,566	100.0	100.0	10.6	7.4
7. 財産収入	80,000	79,544	79,544			△456	99.4	100.0	0.0	△68.8
8. 繰入金	168,721,000	168,580,974	168,580,974			△140,026	99.9	100.0	7.5	△27.4
9. 繰越金	157,372,000	157,372,118	157,372,118			118	100.0	100.0	7.0	40.9
10. 諸収入	2,390,000	2,639,443	2,639,443			249,443	110.4	100.0	0.1	△32.7
歳入合計	2,241,546,000	2,403,231,890	2,238,026,883	1,831,800	163,373,207	△3,519,117	99.8	93.1	100.0	△2.5

歳出

単位：円

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合 (%)		前年対 増減比 (%)
					予算対	歳出計対	
1. 総務費	46,736,000	46,346,644		389,356	99.2	2.2	△5.2
2. 保険給付費	1,371,988,000	1,371,921,320		66,680	100.0	65.5	△4.8
3. 後期高齢者支援金等	246,566,000	246,562,577		3,423	100.0	11.8	4.2
4. 前期高齢者納付金等	734,000	733,572		428	99.9	0.0	77.2
5. 老人保健拠出金	80,000	17,836		62,164	22.3	0.0	△99.6
6. 介護納付金	121,730,000	121,729,295		705	100.0	5.8	6.8
7. 共同事業拠出金	275,663,000	275,661,700		1,300	100.0	13.2	2.6
8. 保健事業費	20,299,000	19,967,263		331,737	98.4	1.0	△0.3
9. 基金積立金	80,000	80,000			100.0	0.0	△68.6
10. 諸支出金	9,673,000	9,617,641		55,359	99.4	0.5	80.6
11. 予備費	147,997,000			147,997,000	0.0	0.0	-
歳出合計	2,241,546,000	2,092,637,848		148,908,152	93.4	100.0	△2.2

4. 後期高齢者医療特別会計決算について

[総括] 後期高齢者医療特別会計の決算収支状況は、歳入総額212,388千円(2,889千円の増)、歳出総額208,936千円(3,465千円の増)で繰越額3,452千円となった。町で実施している特定健康診査事業と連携し、詳細健康診査等サービスの充実を図った。

第15表 平成23年度後期高齢者医療特別会計款別決算額

歳入

款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	未収入額	予算対比較増減 (B)-(A)	収入割合 (%)			前年対増減比 (%)
							予算対	調定対	歳入計対	
1. 後期高齢者医療保険料	117,630,000	120,641,200	118,722,300		1,918,900	1,092,300	100.9	98.4	55.9	4.2
2. 繰入金	84,026,000	82,766,727	82,766,727			△1,259,273	98.5	100.0	39.0	△1.0
3. 繰越金	4,029,000	4,028,143	4,028,143			△857	100.0	100.0	1.9	△10.8
4. 諸収入	6,874,000	6,870,980	6,870,980			△3,020	100.0	100.0	3.2	△7.7
歳入合計	212,559,000	214,307,050	212,388,150		1,918,900	△170,850	99.9	99.1	100.0	1.4

単位：円

歳出

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合 (%)		前年対増減比 (%)
					予算対	歳出計対	
1. 総務費	10,171,000	9,847,613		323,387	96.8	4.7	△1.8
2. 後期高齢者医療広域連合納付金	190,463,000	190,453,670		9,330	100.0	91.2	4.2
3. 保健事業費	8,653,000	8,634,364		18,636	99.8	4.1	6.3
4. 諸支出金	2,137,000			2,137,000	0.0	0.0	皆減
5. 予備費	1,135,000			1,135,000	0.0	0.0	—
歳出合計	212,559,000	208,935,647		3,623,353	98.3	100.0	1.7

単位：円

5. 介護保険特別会計決算について

[総括] 第4期介護保険事業計画の最終年となる平成23年度の決算状況は、歳入総額1,638,284千円、歳出総額1,632,095千円で、繰越額6,189千円となった。歳出決算額の約9割を占める保険給付費については、介護サービス給付費の伸びがあったものの介護予防サービス給付費及び特定入所者介護サービス費の減少により、対前年度比0.2%減となり歳出決算額全体では、基金積立金の増額などにより3.0%の増となった。

第17表 平成23年度介護保険特別会計款別決算額

歳入

款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	未収入額	予算対比較増減 (B)-(A)	収入割合 (%)			前年対増減比 (%)
							予算対	調定対	歳入計対	
1. 保険料	216,209,000	225,733,920	216,553,040	399,450	8,781,430	344,040	100.2	95.9	13.2	0.2
2. 使用料及び手数料	1,000					△1,000	0.0	0.0	0.0	-
3. 国庫支出金	420,193,000	420,189,250	418,877,250		1,312,000	△1,315,750	99.7	99.7	25.6	1.3
4. 支払基金交付金	431,669,000	431,667,986	431,667,986			△1,014	100.0	100.0	26.3	△0.4
5. 県支出金	239,328,000	239,323,625	239,323,625			△4,375	100.0	100.0	14.6	△4.2
6. 財産収入	29,000	28,972	28,972			△28	99.9	100.0	0.0	△71.5
7. 繰入金	258,965,000	258,965,000	258,965,000			0	100.0	100.0	15.8	△7.2
8. 繰越金	45,565,000	45,565,092	45,565,092			92	100.0	100.0	2.8	340.0
9. 諸収入	27,266,000	27,302,760	27,302,760			36,760	100.1	100.0	1.7	0.0
歳入合計	1,639,225,000	1,648,776,605	1,638,283,725	399,450	10,093,430	△941,275	99.9	99.4	100.0	0.5

単位：円

歳出

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合 (%)		前年対増減比 (%)
					予算対	歳出計対	
1. 総務費	89,873,000	86,654,788	2,625,000	593,212	96.4	5.3	△3.2
2. 保険給付費	1,437,344,000	1,434,749,219		2,594,781	99.8	87.9	△0.2
3. 地域支援事業費	37,454,000	37,064,837		389,163	99.0	2.3	3.5
4. 基金積立金	19,739,000	19,739,000		0	100.0	1.2	1,100.4
5. 諸支出金	53,934,000	53,887,387		46,613	99.9	3.3	179.7
6. 予備費	881,000			881,000	0.0	0.0	-
歳出合計	1,639,225,000	1,632,095,231	2,625,000	4,504,769	99.6	100.0	3.0

単位：円

6. 農林業集落排水事業特別会計決算について

[総括] 田島地域（針生地区及び田部地区）、館岩地域、伊南地域の農業集落排水施設及び南郷地域（小野島地区）の林業集落排水施設並びに館岩地域（たのせ地区）の簡易排水施設の維持管理運営等を行った。

使用料調定件数…農業集落排水：865件、林業集落排水：14件、簡易排水：11件

第20表 平成23年度農林業集落排水事業特別会計款別決算額
歳入

款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	未収入額	予算対比較増減 (B)-(A)	収入割合 (%)			前年対増減比 (%)
							予算対	調定対	歳入計対	
1. 使用料及び手数料	49,039,000	56,504,028	49,160,920		7,343,108	121,920	100.2	87.0	30.8	2.1
2. 繰入金	106,859,000	106,441,466	106,441,466			△417,534	99.6	100.0	66.6	△14.0
3. 繰越金	4,201,000	4,201,522	4,201,522			522	100.0	100.0	2.6	54.7
4. 諸収入	1,000					△1,000	0.0	—	0.0	—
歳入合計	160,100,000	167,147,016	159,803,908		7,343,108	△296,092	99.8	95.6	100.0	△8.5

単位：円

歳出

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合 (%)		前年対増減比 (%)
					予算対	歳出計対	
1. 集落排水事業費	51,333,000	50,564,421		768,579	98.5	32.7	△8.0
2. 公債費	104,146,000	104,145,501		499	100.0	67.3	△9.9
3. 予備費	4,621,000			4,621,000	0.0	0.0	—
歳出合計	160,100,000	154,709,922		5,390,078	96.6	100.0	△9.3

単位：円

7. 公共下水道事業特別会計決算について

[総括] 田島地域の公共下水道施設及び南郷地域の特定環境保全公共下水道施設の適正な維持管理に努めるとともに、管渠埋設工事により、整備済面積が約227ha（田島地域約126ha、南郷地域約101ha）となった。

使用料調定件数…公共下水道：1,150件、特定環境保全公共下水道：627件

第22表 平成23年度公共下水道事業特別会計款別決算額
歳入

款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	未収入額	予算対比較増減 (B)-(A)	収入割合 (%)			前年対増減比 (%)
							予算対	調定対	歳入計対	
1. 分担金及び負担金	2,629,000	10,763,400	2,624,700		8,138,700	△4,300	99.8	24.4	0.7	△10.9
2. 使用料及び手数料	85,452,000	87,987,102	85,430,840		2,556,262	△21,160	100.0	97.1	22.2	3.8
3. 国庫支出金	78,687,000	78,687,000	78,687,000				100.0	100.0	20.5	74.4
4. 県支出金	3,940,000	3,940,500	3,940,500			500	100.0	100.0	1.0	75.1
5. 繰入金	136,818,000	136,493,000	136,493,000			△325,000	99.8	100.0	35.5	△7.5
6. 繰越金	7,286,000	7,286,318	7,286,318			318	100.0	100.0	1.9	219.4
7. 諸収入	3,700,000	3,700,000	3,700,000				100.0	100.0	1.0	1,133.3
8. 町債	65,900,000	65,900,000	65,900,000				100.0	100.0	17.2	40.8
歳入合計	384,412,000	394,757,320	384,062,358		10,694,962	△349,642	99.9	97.3	100.0	16.5

歳出

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合 (%)		前年対増減比 (%)
					予算対	歳出計対	
1. 土木費	226,480,000	224,466,399		2,013,601	99.1	58.7	40.3
2. 公債費	157,880,000	157,879,849		151	100.0	41.3	△2.7
3. 予備費	52,000			52,000	0.0	0.0	—
歳出合計	384,412,000	382,346,248		2,065,752	99.5	100.0	18.6

8. 簡易水道事業特別会計決算について

[総括] 縮岩上郷地区簡易水道整備事業及び南郷簡易水道整備事業を行い、また、各簡易水道の維持管理に努め、給水の安定供給を図った。

第25表 平成23年度簡易水道事業特別会計款別決算額
歳入

款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	未収入額	予算対比較増減 (B)-(A)	収入割合 (%)			前年対増減比 (%)
							予算対	調定対	歳入計対	
1. 使用料及び手数料	235,217,000	276,446,248	234,696,710		41,749,538	△520,290	99.8	84.9	36.1	△1.5
2. 国庫支出金	91,205,000	89,268,000	89,268,000			△1,937,000	97.9	100.0	13.7	93.9
3. 財産収入	12,000	12,051	12,051			51	100.4	100.0	0.0	△59.4
4. 繰入金	170,532,000	167,405,000	167,405,000			△3,127,000	98.2	100.0	25.8	△25.0
5. 繰越金	5,327,000	5,327,862	5,327,862			862	100.0	100.0	0.8	14.5
6. 諸収入	356,000	356,717	356,717			717	100.2	100.0	0.1	△14.9
7. 町債	152,800,000	152,800,000	152,800,000			0	100.0	100.0	23.5	72.5
歳入合計	655,449,000	691,615,878	649,866,340		41,749,538	△5,582,660	99.1	94.0	100.0	8.1

歳出

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行割合 (%)		前年対増減比 (%)
					予算対	歳出計対	
1. 簡易水道事業費	387,496,000	377,644,815	6,045,000	3,806,185	97.5	58.7	17.1
2. 公債費	265,957,000	265,955,914		1,086	100.0	41.3	△2.7
3. 予備費	1,996,000			1,996,000	0.0	0.0	—
歳出合計	655,449,000	643,600,729	6,045,000	5,803,271	98.2	100.0	8.0

9. 水道事業会計決算について

[総括] 水道水の安定供給を図るため、給配水管の布設及び移設工事を実施した。
 当年度の損益勘定については、収益的収入145,037千円(消費税抜き)に対し、収益的支出は132,644千円(消費税抜き)で当年度純利益12,393千円となった。今後は、更なる経費縮減と適切な使用料収入の確保を図り健全な企業経営に努めることとしたい。

第28表 平成23年度水道事業会計款項別決算額
 収益的収入

単位：円

	予 算 現 額				決 算 額 (B)	予算対比較増減 (B)-(A)	収 入 割 合 (%)		前年対増減比 (%)
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支 出額に係る財源充当額	計 (A)			予算対	歳入計対	
第1款 水道事業収益	151,949,000	1,121,000		153,070,000	151,880,520	△1,189,480	99.2	100.0	△2.8
第1項 営業収益	144,228,000	1,260,000		145,488,000	144,463,430	△1,024,570	99.3	95.1	△2.7
第2項 営業外収益	7,721,000	△139,000		7,582,000	7,417,090	△164,910	97.8	4.9	△3.8

収益的支出

単位：円

区 分	予 算 現 額					決 算 額	地方公営企業 法第26条第2 項の規定によ る繰越額	不 用 額	執 行 割 合 (%)		前年対増減比 (%)
	当初予算額	補正予算額	予備費支出及 び流用増減額	地方公営企業法 第26条第2項の規 定による繰越額	計				予算対	歳出計対	
第1款 水道事業費用	140,523,000	13,000			140,536,000	138,031,246		2,504,754	98.2	100.0	△3.2
第1項 営業費用	103,018,000	337,000	907,000		104,262,000	102,023,777		2,238,223	97.9	73.9	△2.2
第2項 営業外費用	36,255,000	△324,000			35,931,000	35,930,079		921	100.0	26.0	△5.4
第3項 特別損失	250,000				250,000	77,390		172,610	31.0	0.1	△60.4
第4項 予備費	1,000,000		△907,000		93,000			93,000	0.0	0.0	—

第4. 基金の運用状況に関する調書（定額運用基金）

1. 土地開発基金

基金の総額		前年度末現在額	決算年度増減額			本年度末現在額
		402,436,630	225,045			402,661,675
運用状況	区分	前年度末現在額	決算年度中増減額			本年度末現在額
			増加	減少	計	
	現金	263,095,661	2,830,612	37,629,532	△ 34,798,920	228,296,741
	土地	139,340,969	37,629,532	2,605,567	35,023,965	174,364,934
	計	402,436,630	40,460,144	40,235,099	225,045	402,661,675

2. 結婚資金貸与基金

基金の総額		前年度末現在額	決算年度増減額			本年度末現在額
		2,000,000	0			2,000,000
運用状況	区分	前年度末現在額	決算年度中増減額			本年度末現在額
			増加	減少	計	
	現金	2,000,000	0	0	0	2,000,000
	貸付金	0	0	0	0	0
	計	2,000,000	0	0	0	2,000,000

3. 農林水産業振興基金

基金の総額		前年度末現在額	決算年度増減額			本年度末現在額
		61,000,000	0			61,000,000
運用状況	区分	前年度末現在額	決算年度中増減額			本年度末現在額
			増加	減少	計	
	現金	43,066,000	5,136,000	18,200,000	△ 13,064,000	30,002,000
	貸付金	17,934,000	18,200,000	5,136,000	13,064,000	30,998,000
	計	61,000,000	23,336,000	23,336,000	0	61,000,000

4. 奨学資金貸与基金

基金の総額		前年度末現在額	決算年度増減額			本年度末現在額
		148,243,509	0			148,243,509
運用状況	区分	前年度末現在額	決算年度中増減額			本年度末現在額
			増加	減少	計	
	現金	30,838,714	13,872,045	23,376,000	△ 9,503,955	21,334,759
	貸付金	117,404,795	23,376,000	13,872,045	9,503,955	126,908,750
	一般分	113,568,047	20,621,889	13,776,045	6,845,844	120,413,891
	滞納分	3,836,748	2,754,111	96,000	2,658,111	6,494,859
	計	148,243,509	37,248,045	37,248,045	0	148,243,509

第5 地方財政状況調査による資料

(注) この資料は地方財政状況調査(普通会計)の規定により算出したものであり、一般会計の計数等とは異なる。

項 目	係 数		意 義
	21 年 度	0.235	
財 政 力 指 数	22 年 度	0.221	普通交付税算定において、基準財政収入額を基準財政需要額で除いたものであり、基準財政需要額から基準財政収入額を差し引いた不足分は、普通交付税によって補われる。したがって財政力指数が「1」に近い団体ほど財政力が強く、財源に余裕ができ、弾力的な財政運営が図られる。
	23 年 度	0.223	
	3ヶ年平均	0.226	
	23 年 度	424,825	
実 質 収 支	23 年 度	424,825	千円 形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたもので、団体の純剰余又は純損失を意味し、財政運営状況を判断する重要なポイントとなる。
単 年 度 収 支	"	130,573	千円 当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いたもので、その黒字又は赤字額で収支の均衡の状況が見られる。
実 質 単 年 度 収 支	"	528,249	千円 実質単年度収支についての考え方は、単年度収支のそれとほぼ同様であるが、積立金、地方債繰上償還、積立金取り崩しが含まれるため、収支に表れない財政運営の弾力性が見られる。
標 準 財 政 規 模	"	8,966,929	千円 地方団体の標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源ベースでの財政規模を示すもので、通常水準の行政活動を行う上に必要な一般財源の総量を示すものである。
経 常 収 支 比 率	"	86.3	經常的一般財源を經常的経費にどれだけ充当したかを表すもので、その剰余財源が大きいほど、新たな行政需要に弾力的に応じられることができるといえる。(臨時財政対策債、減税補てん債を經常一般財源に加えた比率)
実 質 収 支 比 率	"	4.7	実質収支額の標準財政規模に対する比率であり、財政運営の指標となるものである。

第6 健全化判断比率の状況

単位：%

項目	早期健全化基準	財政再生基準	比率		意義
実質赤字比率	13.53	20.00	23年度	-	一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率 $\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$
連結実質赤字比率	18.53	30.00	"	-	全会計を対象とした実質赤字（又は資金不足額）の標準財政規模に対する比率 $\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$
実質公債費比率	25.0	35.0	21～23年度の 3ヶ年平均	10.6	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率 $\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{元利償還金} + \text{準元利償還金} - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}))}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$
将来負担比率	350.0		23年度	47.4	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率 $\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$
資金不足比率					公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率 $\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$
上水道事業	20.0		23年度	-	
農林業集落排水事業				-	
公共下水道事業				-	
簡易水道事業				-	